



西野正人

**ハッキリ言います！
市政にひとこと！**

連絡先/〒191-0011 日野市日野本町6-9-1 TEL 042-582-4381/FAX 042-582-2866

HP: <http://www.nishino1.com/> E-mail: nishino@eco.ocn.ne.jp

6月議会 日野市の一般会計補正予算 4362.2 万円を可決！

6月議会では日野市の一般会計補正予算が審議され、約4,362万円が可決し、追加されました。共産党の中野昭人議員他2名から補正予算における修正案が提出されましたが、賛成少数にて否決され原案が賛成多数にて可決されました。これで一般会計の総額は、615億5362.2万円となりました。今回の一般会計補正予算のなかで注目事業を紹介します。

- **子どもの貧困対策事業経費—基本方針策定支援業務委託料 454.2 万円**
- **障害者差別解消促進事業経費—249 万円** (条例制定に向けて動き始めました)
- **新可燃ごみ処理施設周辺環境整備経費** (北川原公園専用路整備工事実施設計業務委託料)—**348.7 万円**
- **北川原公園整備工事実施設計業務委託—806.9 万円**
- **シティセールス事業経費** (日野市認知度等調査業務委託料)—**99.4 万円**
- **まちおこしイベント事業経費—87.6 万円** (地元の方々からの強い要望があり—よさこい祭補助金)



日野市議会の取り組みをご報告！

近年、急速に問題が深刻化しつつある「子どもの貧困問題」に対しては、国においても閣議決定し対応策を検討しています。しかし、これまで日本の貧困問題の研究は遅れていました。首都大学東京では人文科学研究科社会行動学専攻の阿部 彩 教授をセンター長とする『子ども・若者貧困研究センター』を設置し、大学内の社会福祉学、教育学、社会学、心理学などの研究者と連携し、その成果を東京都をはじめとする自治体へ提供することとしています。

日野市議会でもこの問題に対して、議連の立ち上げや、阿部教授を招いて勉強会を開催するなどし、議員、議長として積極的に取り組んでいます。

**子どもの貧困**

講演「日本の子どもの貧困の実態と対策」

障害者差別解消 障害者差別解消法が今年4月1日から施行されました。この法律は障害を理由に行政機関や民間事業者による、差別や不当な扱いを禁じ、合理的配慮の不提供を禁止するものです。市役所ではすでにこの法律の認知を広める広報活動を始め、障害のある方の日常生活への支援を図るため、本庁舎に手話通訳者を週5日配置し、聴覚障害者への窓口サービス支援を図るほか、視覚障害者の同行援護の時間拡充等に取り組んでいます。

日野市議会においても条例の制定も視野に取り組んでいます。



6月議会での請願・意見書の結果

請 願 件 名	結 果
日野市日野本町5丁目7番地四ツ谷下西公園のトイレ設置に関する請願	採 択
米軍属による死体遺棄事件への謝罪と補償を求め、不平等な日米地位協定の見直しを求める意見書を政府に提出する請願	継 続
北川原公園整備計画の作成を日野市民各層の参加により進めることを求める請願	不採択
意 見 書 件 名	結 果
監察医制度の拡充と検案医の育成と確保に関する意見書	成案となる
2017年4月の消費税率10%への引き上げ中止を求める意見書	成案とならず



大坪冬彦市政の注目行政事業を紹介！

(平成 28 年第 2 回市議会定例会市長の行政報告より)

■ クリーンセンター焼却施設新搬入路整備—北川原公園整備計画を検討！



北川原公園建設予定地

クリーンセンターの焼却施設建て替えに伴い、国分寺市・小金井市からのごみ搬入路を多摩川沿いに整備する計画を、昨年 10 月に近隣自治会の方々にご説明し、一定のご理解をいただきました。今年に入り、5 月・6 月には北川原公園整備の検討会を開催いたしました。公園予定面積は 1.4 ヘクタールで、搬入路との境はフェンスと植栽により遮蔽し、スポーツ広場・芝生広場・テニスコート・健康遊具広場・エントランス広場・駐車場 (51 台分) 等の配置案を示し、ご検討いただきました。今後、8 月にも説明会を予定しています。

■ 熊本地震被災地への支援—物資だけでなく日野市から人的支援も！



市立病院から DMAT を派遣

4 月 18 日から義援金の受付を開始し、乳児用粉ミルク 8,000 食とミルク用飲料水 720 ℓ を被災地に送りました。

また、「平成 28 年熊本地震」の被災地支援として、4 月 18 日に医師 1 名を含む病院職員 5 名の「日野市立病院災害派遣医療チーム」(DMAT) を派遣し、4 月 25 日には被災建物応急危険度判定のために技術職員 2 名を、5 月 6 日からは罹災証明書発行事務のために事務職員 4 名を派遣しました。

■ 浅川沿い幹線市道 I-22 号線改良工事完了—堤防の増築強化も！



浅川堤防沿い市道を強化整備

浅川右岸の南平地域から平山橋までの市道 I-22 号の工事が完了しました。浅川沿道の道路整備と合わせ、堤防高の不足部分をかさ上げし、さらに堤防幅を広げて強化する役割も担っています。また、歩道部分を緑色に色分けするとともに、境界にポールを配置して歩行者のエリアを確保し、歩きやすい浅川沿道としました。

水害に備え
安心・安全



■ 子育て支援の拡充—定員 130 名を拡大！



移転新設した吹上多摩平保育園

保育園については、4 月に「吹上多摩平保育園」が市立病院跡地に移転することに併せて定員を 90 名拡大しました。また、旭が丘物流施設内には定員 40 名の「第四暁愛児園」が開設され、合計すると 130 名の定員が拡大されました。今後、待機児童の解消に対しては、保育園の新規開設だけでなく、既存保育園の定員拡大や小規模保育事業の開設、市内大手企業と協働した事業所内保育事業の開設の検討などに取り組んでいく予定です。

■ 出産・子育て応援事業開始—生活・保健センターでワンストップ！



生活・保健センターに窓口一本化

これまで妊娠届けの提出時に市民窓口課、七生支所等で母子健康手帳の交付を行っていましたが、4 月 1 日から生活・保健センター内健康課に妊娠届の受付と母子手帳の交付の窓口を一本化しました。これにより、母子手帳の交付だけでなく、保健師等専門のスタッフによる、妊娠、出産、子育てに関する相談から、母子保健サービスの紹介までワンストップで提供できるようになりました。